

ロ シ ア 憲 法 草 案

すべての人の幸せのために生活、自由、希望を

第1条 ロシア・ヨーロッパ・アジア同盟（以下、ロシア同盟と略）は、すべての市民のために平等の権利と機会を保障する自由な連邦制の民主主義国家である。

第2条 ロシア同盟における最高の執行権は、全人民の直接の秘密投票で、2期までの5年任期で選挙された大統領に帰属する。大統領令は、すべての領域で正確かつ速やかな執行を要する。

第3条 ロシア同盟の選挙人は、大統領の信任に関する毎年のレフェレンダムを実施する権利を有する。

第4条 ロシアの最高立法機関は、2つの院、上院と下院、からなるロシア同盟議会である。

各院は75人の代議員から構成なり、5年任期で直接の秘密投票で選ばれるか、または大統領の任命による。

第5条 ロシア同盟の最高裁判機関は、10年任期で普通、直接の秘密投票で選ばれるか、または大統領によって任命される最高裁判所である。

第6条 ロシア同盟の経済システムの原則は、私的所有および市場経済であり、大統領、議会、政府のあらゆる干渉から自由である。国有（国家的所有または財産）は、厳格に固定化され、かつ最少限とする。

第7条 ロシア同盟のすべての自治的領域の活動（функционирование）は、自治原則のもとでこれを行う。

第8条 文化、教育、科学および保健は、予算組織であり、国家が財政措置を講ずる。

第9条 ロシア同盟の国防力、安全保障、外交は、優先事項であり、国家予算および兵役義務法によってこれを保障される。

第10条 マスメディアは、政府、議会および大統領から自由かつ独立であり、もっぱら自主財源で活動する。

第11条 ロシア同盟の全領土は人民に帰属し、丁寧な態度をとることを条件に任意の利用形態のもとに人民に譲渡される。

第12条 ロシア同盟のエコロジーは、市民の社会団体からの恒常的な監督のもとで国家によってこれを保障する。

第 1 3 条 ロシア同盟の私有化は、国有化およびすべての市民のあいだでの公平な配分をととして実施される。

第 1 4 条 ロシア同盟の最高仲裁機関は、大統領によって 1 0 年の任期で任命される。

第 1 5 条 ロシア同盟の憲法は、全人民投票において全有権者の 3 分の 2 以上の投票により採択され、同じ方法で改正される。

第 1 6 条 ロシア同盟は、多民族からなる単一国家であり、あらゆる形態の差別、ジェノサイド、ならびに民族的、宗教的、社会的および政治的理由による殺戮を禁止する。

第 1 7 条 ロシア同盟は複数政党制を定め、権力闘争は憲法の枠内で暴力を除くあらゆる手段を許される。

第 1 8 条 ロシア同盟は、国連の世界人権宣言ならびにその署名した条約および協定を承認し、支持し、実施する。

第 1 9 条 ロシア同盟は、核兵器およびあらゆる種類の大量殺戮兵器の廃絶および全面禁止をめざす計画の提案者であり実行者である。

第 2 0 条 ロシア連邦は、互惠関係に基づいて他の国および国家との同盟に加盟するために開かれている。

第 2 1 条 ロシア同盟の首都は、モスクワ市である。国家は、国旗、国章および国歌を定める。

第 2 2 条 ロシア同盟は、国家の全領域での通用を義務づけ、ロシアのすべての財産を保障する通貨単位—ルーブリを有する。

第 2 3 条 ロシア同盟は、自国の安全保障を保障するために、対外的な陸地、領海、領空および宇宙の不可侵、国境を定める。

第 2 4 条 ロシア同盟においては、人格権および民族的、宗教的、政治的であれあらゆる少数者の権利の擁護を保障される。

第 2 5 条 ロシア同盟においては、自国人民のために人民の政治（統治）を実現し、各人の権利と例外なくすべての人の平等を保障する憲法原則を実行する。

第 2 6 条 ロシア同盟においては、私的財産、人身の不可侵、プルーラリズムの保護は、ロシア憲法、その法律および大統領によってこれを保障する。

第 2 7 条 ロシア同盟においては、故意の殺人、偽通貨の製造準備、偽造および流通に対してのみ死刑が適用される。

第 2 8 条 ロシア同盟においては、重罪：破壊行為（暴力行為）、汚職、収賄、略奪、恐喝（横領）、窃盗、危険な無頼行為、強姦、テロ行為、麻薬の製造および流布、強盗、軍人および警察官への襲撃、1 0 0 万ルーブル以上の損害を与える環境破壊、祖国への反逆および軍人の反逆（裏切り）は、終身刑の刑罰を適用される。その他の刑事犯に対しては、それぞれの罪を加算して罰せられる。

第 2 9 条 ロシア同盟においては、憲法、法律および大統領は、すべての市民に対し、犯

罪分子からの人身の保護を保障する。すべての市民は、特別な許可なしに銃砲、爆薬、毒性の武器を持ち、保持し、保管することを禁止される。本条の違反に対しては、25年の禁錮刑が適用される。

第30条 ロシア同盟においては、いかなる機関といえども、言論の自由、信仰（宗教）ならびに平和的な集会および街頭行進に対する市民の権利に干渉することは許されない。

第31条 ロシア同盟においては、市民の権利を侵害し、蹂躪するあらゆる機関のいかなる秘密の法律、命令および決定はこれを認めない。

第32条 ロシア同盟においては、憲法および大統領は、国家のすべての領域内において、かつ国外の世界の任意の地において、自国の市民に対しその保護を保障し、ロシア国外のすべての同国人（邦人）を兄弟姉妹とみなし、必要な支援を行う用意がある。旧ソ連の共和国、その他の近隣の外国の独立国家に住むロシア人は、ロシア市民権を有し、ロシア市民と対等に選挙に参加し、ロシアの領域の永住地に戻る権利を有する。

第33条 旧ソ連の人民に帰属していたすべての財産および資材、土地、地下資は、国有化され、公平原則にしたがい、その真の法的所有者であるロシア市民に返還される。

第34条 ロシア同盟大統領の選挙に関する法律は、自動的にレフェレンダムと同一視され、大統領の職に当選した者の選挙綱領に対する投票とみなし、大統領就任の承認の日に法律とされる。

第35条 ロシア同盟における教会は、独立であり、国家から分離され、ロシアの憲法および法律の枠内で活動する。

第36条 ロシア同盟においては、党委員会書記からソ連共産党中央委員会書記長にいたる、かつてソ連共産党員を国家的職務の指導的ポストに従事させることは許されない。例外は、ロシア大統領が承認し主導する特別委員会の決定によってのみこれを許される。

第37条 ロシア大統領は、市民の社会保障の自由な予算上、または予算外のファンドを有し、すべてのロシアの障がい者の保護を保障し、貧困な、または保障の少ない労働能力喪失者の保護を保障する。

第38条 ロシア同盟大統領は、ロシア市民の保護、人に値する保障された生活、預金、インフレ指数に対する市民の権利の保証人である。

第39条 ロシア同盟大統領は、子どもの保護の保証人であり、その正常な成長を促し、その若者給源による将来のロシアの強固化の保証人である。

第40条 ロシア同盟の憲法と大統領は、偉大なロシアの文明的発展および開花、諸国民のあいだの友好の強固化をめざす、ロシアの企業活動および私的ビジネス、ロシアの発展のための外国の投資、外国のビジネスの必要な条件および保証のすべての条件を保証する。

—完—